夕刊
磐城新聞
七月十六日發行
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）

帝都復興スケッチ展覽會作品座談會 (2)

坂本孝正氏

作品批評

青山『作品全部を拜見して、何かこう輕快な趣が全部に溢れて居る樣な氣を得ました。テンペラなんて面倒な材料を自由に驅使して効果を擧げたあたり敬服します。帝都復興スケッチとした單なる畫の報告といふよりも内面的に充實してゆく作家の藝術的氣力の旺んに驚き入ります』

（作者この時、一應帝都復興スケッチとした理由を語る）

作者『帝都復興スケッチ展なんて變なんですが最近散歩の折にステッキ代りに一つ持て出る道具で軒下にとかポストの蔭とかいふあたりで喧騒を別に氣にかけず書きためたものが主なんでこんな變な名稱をつけて展覽會をするのです、御了解下さい』

青山『表現方法は非常に簡明で肩の凝りなく心易く眺めることが出來ますね』

大和田『僕はテンペラを扱つたことがない、またこうしテンペラ作品に數多く接しても居りませんから批評はとても出來ませんが作品を拜見しまで小さなえらも熱を充分くむことも出來るし、技巧等もテンペラとしては申分なからうかと思はれます、いつか光風會で見た帝都復興作品展覽會よりも、强く胸に答へる樣です光風會（東都中堅作家洋畫のグループ 筆記者註）の作品は嫌な氣取りやでいたに附いて居ない、フワフワしたものと印象づけれらました、あれよりは作者の克明な態度、觀察が私を喜ばせてくれます』

酒井『兎に角作品が同じモチユーブで書かれてあつてアクセントをつけたあたり、僕をして尠くとも歳月三、四年はかかりますよ、これで同種類の畫といふ奴は中々興が湧かないもので住んでる土地を寫すなんてとても續きません、スケッチといふよりは確に一點一點製作といつても辱かしくありません。廣重を思ひ出します、あの廣重が寫した東海道五十三次と坂本氏の帝都スケッチ決して遊びながらの仕事では出來ません素晴らしい勉強、努力、實に尊ひ結實です』

酒井『聖橋の作品はいい、廐橋なんていいもんだ、構圖も作者は眞劍に考へて居る』

×

青山『坂本さん書くとき特に好きだといふものはないんですか、道路が好ぎだとか水溜が好きだとかいふ眼點ですね』

作者『これが好きだ、あれが好きだなんてありません、赤い屋根にしきつかれても書きますし、溝の小さい橋も書きます、特に撰ぶなんてありません』

青山『色に就ての趣好があるでしよう、お話し下さいませんか』

作者『カドミニームエーローを使うのが癖でしたが最近は餘り使はない事にしてゐます』

酒井『綠は何をお使ひですか』

作者『普通のビリジヤンとエメラルドを持つてる』

酒井『エメラルドは變色しませんか』

作者『單色にて用ひれば變色しません』

青山『作品の感想として帝都内の靜的方面のみ主として取扱つてありますがあれは私の希望を述べると動的方面のとぼしい樣な感が出てきます、こうしてたくさん見ますと動的方面のないのが殊更に淋しく感じます』

酒井『同感です』

酒井『スケッチは筆數が少いのが通常で、この點作品を一寸見ると細かく書かれてゐやしないかと思はれますが、手に取つた時は隨分單純化されて居りますから、これらは技巧の妙ですね』

酒井『僕をして難をいはすれば批評は主觀的ですから！綠の混色されたものが餘りすきません』

青山『私はそういふ樣な澁い綠がすきです』

酒井『この綠の混色された或ひは作者の御言葉も伺ひましたが、どうも好めません……スケッチも纒つたものばかりだと面白くありません、作品中には傲放な粗野なといふ樣なのもあつてよかなかつたかと思はれます』

うれひ（二）

江原修介

眠るごとく飲めば死にゆく藥などしきりにほしくなりたる日あり

死にたしと眞面目に云ひてみたる日を思ひ出せしこの夕べかな

床の間に刀をかざり人知れず拔きてはほゝゑむ夜の多きかな

はつと眼をひらきし刹那よくぞわれ死ななざりしと思ふ朝あけ

このままに死ぬかと思ふ心地して寢ねやらずして明す夜のあり

連句（五）

西方の山家に母は老いてゐる　羅

桔梗いけし床のさむしろ　蛙

義仲の後と傳へて佗び住める　羅

瘦せたる月に草刈らん月　蛙

大濤のけふは嫁入り騷ぎにて　羅

ラヂオを倉にしまひなどする　蛙

（續く）

時代警句（ニイ・イイ）

○男女は互に自己を欺く、結局彼等は自己みづからもつと美しく云へば彼等自らの理想を貴んだり愛したりするに過ぎない。男は女が從順であらん事を求めても女は本來不從順である。猫のようにおもには如何程柔順に裝はうとも…………（評惡　歌學）

拈華微笑

◇勿體無い言ひ分だがお天道樣があつたんだつけ　◇親の時よりの

時。郡農會心配せよ。フレー　◇米の騰つた時に天候恢復す　◇既に一年分の數

になつた。但し平の傳染病者數　◇眺めても眺めても倦きないお天道樣のお顏　○……○

兵隊（童謠詩）

高橋徳久

十日もつづく
演習で
とても疲れた
兵隊さん

鐵砲抱いて
ねむつてる
赤い頰べた
ゆがんでる。

遠くの方で
大砲よ／
馬はぴくりと
耳立てる。

學藝消息

△短歌募集——小田俊夫氏が主となつて短歌の廻覽雜誌を作る。送稿先、東京府下大井町寺ノ下一五八〇小田氏宛て。

新刊紹介

△兒童藝術（七月號）大立主計、豐田義一氏等の主宰する童謠研究の同人雜誌、本號載する處佐藤惣之助の童謠『蠅叩き』外十數篇及び評論兒童藝術論（安岡黑村）等（一部二十錢東京市外長崎町二〇四八其社）

△野と雲（七月號）詩、童謠、童心詩、小曲を輯めた四六倍判の表紙共八頁の小誌（一部十錢八王子市外西中野二、〇四二多摩詩人協會發行）

7月17日

△京都祇園祭（此日より二十四日迄の間）△江戸を東京と改む、始め大久保利通大阪へ遷都の議を上る。後更に議を重ねて江戸と定む（明治元）△圓山應擧歿す、丹波國桑田郡穴田村の人也年六十三（寛政七）△松村吳春歿す、四條派の開祖として與謝蕪村、圓山應擧と同時代の人也（文化八）△斬首の刑を廢止す（明治一三）

一日一譚

○

本是瀟湘一釣客
自西自東自南北

講談　元祿名妓傳

小邑井小巴演
（宮野恒彦畫）

一二五席

房『何分お賴み申します！』とお房は別れて裏の小柴垣へと戻りました、喜助は極の正直者だけお房の孝心に釣り込まれ、其晩近所の半助親父を呼寄せ、委細を話して吉原の樣子を聞くと半『夫りやあ今可なりな器量の女を持込めば、大したお金になるとの事で、せげんの人達は血眼になつて女を見付けて歩いて居ます！』と云ふ 喜『私も賴まれたので、今其の本人をお招ぎ申すから、お前篤と話して上げて下さいな』半『何の譯のない事で新吉原の樣子なら何方にでもお話し申します』喜『夫ぢやア』と喜助はお房を迎へにやりました、間もなく女房と一緒にお房は出て來た、喜助は座を退いて 喜『サア／＼お孃さん此方へ／＼』と手を上げて招ずる 房『マア厄介者の私に、さう丁寧にして吳れては困ります、喜助さんは此方の旦那、私はこれで好うございます』と下手に座を構へた 喜『あゝお孃さん、其んなに遠慮して下すつては手前が迷惑、サどうぞ……』と爭つてゐる半助親父この樣子を見て。半『馬鹿にイ、女だなア、何時此處へこんな美しい女が來たか、吉原の太夫さん松の位とか何とか言つて人が持てほやす、入山形に二つ星の花魁でも、こんな美しいのは見たことがない、ハテナ』とよだれグラ／＼の有樣 喜『オイ／＼半助さん、年甲斐もねえ何をボンヤリしてゐるのだヱ、此のお方がその吉原の樣子を詳しく聞いて見たいと仰しやるのだ、お前よくお話申上てお呉れ』半『へえ／＼是れは……今日は、よいお天氣で……』美に打たるるとは此の事で、半助親父うろたへて終つた 房『あの～初にお目に掛ります、飛んだことをお賴み申し定めし御迷惑でございませうが、仔細あつて樣子により、私が吉原の苦界へ身を沈めようと思ふのでございますが、今彼方で私の樣なものでも抱えて下さるお家があるでせうか』半『へーッ、阿方樣がアノ吉原へ、花魁におなりなさると仰しやるので……夫りやあるところではありません、若し然う云ふ事を仰しやれば、彼ちからも此ちらからも抱え主が出て困ります、全くその思召で』房『ハイ全くその通りでございますが、阿方のてで何處へかお世話が願はれませうか』半『手前のてでと云ふ譯にはなりませんが江戸町に結城屋五兵衞といふせげんの親分がありますの此の親分へ話しますれば吉原五丁のうち、どんな好い家へでも世話をして吳れます、結城屋の親分はあゝいふ商賣に似合はない親切な事でお任せなさつても決して間違ひはありません、手前も櫻時分はアノ親分のテで、花の番人手入れに雇はれて參つて居ります、直これから參つて結城屋の親分を連れて參りませう！』喜『マア半助さん、さう早呑込みなことを言つては困る此方にもいろいろ御相談があり、話すところもあるのだから、夫れを決めた上でお願ひしよう、お孃さん然うではございませんか』房『イエ別に相談はいりますまい、なまなか相談などをすると、何の滾のと故障が出ます、スッカリ極めて置いて跡で話した方が親達のあきらめもよし寺尾樣も不服を言つて下さるまいと存じます、善は急げ私の心が定つて居りますから、一日も早くお取計らひを願つた方が宜しうございます』喜『然う仰しやれば私は彼是れ申すところはありませんが……』房『夫れでは半助さんとやら、何分よろしく！』最う昔のお房ではない小西屋のお孃さんではありません、一ッとした心得違ひから散々苦勞を重ねた上地震なり父の發狂なりに心の鍛錬が着いて來た、決然として身賣のことを賴む、半助親爺も是程の上玉を世話をすれば、充分の禮金が取れるだらうと、是れは慾の方を先にして、足を空に吉原の結城屋へと飛んで來た。

ラヂオ

…十七日（金曜）…
仙臺 JOHK

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理獻立（臺灣料理…豚肉と野菜のアンカケ）廣瀨カメ子發表 日用品値段
△一〇、三〇 家庭講座（夏の生活…夏の準備）小野玉枝
△正午A 時報
△後〇、〇五A ジャズと合唱及獨唱 東京セレネーダス コロンビア、レコーディング、オーケストラ
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△二、〇〇A 家庭大學講座（基督教の論理）明治學院中學部長都留仙次
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇F（子供の時間）お話（伯耆の大山）廣島縣立工業學校教諭結城次郎
△六、三〇A 英語講座（初等科）岡倉由三郎
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告 生繭相場
△七、三〇F 趣味講座 我が郷土の傳說『中國の卷』（嚴島の傳說に就て）野坂元貞（附）俚謠 一、嚴島御船唄 二、[illegible]揚唄 嚴島町有志 三、宮島音頭 四、音戶の船頭唄 音戶町有志
△八、三〇 新小唄（若松小唄…東山小唄…玄如流し…會津音頭
△九、〇〇 映畫物語（劍法吉岡染）長門武郎
△九、四〇A 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項 生繭相場

廣告

和洋食堂開設披露
今般和洋食堂部開設ノ爲今夏中奉仕的大勉强致ス可ク何卒舊ニ倍シテ御來店御待チ受ケマス
四倉町字新町十三番地
御料理 小松屋 椎名忠太郎
（元藤原炭鑛ニ於テ逢來亭）

開店披露
書籍。一般文房具。薄利多賣
何卒末永ク御愛顧御引立ノ程ヲ
四倉町仲町學校正門前
金海堂書店

釜めし 二〇錢
うなぎ丼 廿五錢
一品料理
四倉町仲町海盛座側
大漁亭
電話五一番

夜間診療
胃腸 内科 十二指腸虫病 專門 内科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電話一〇七番）

夏服
◇輕裝上衣
黑セル3圓50錢より
カシミヤ7圓80錢より
◇白直衣
1圓40錢より
◇ヅボン
白セル2圓30錢より
パンビス2圓50錢より
輕快な夏服の季節となりました。スマートな新製品が豐富に取揃へて御座ひます。
平ニ あかや洋服店 電203

專門 一般内科
内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井内科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

保險外務 社員招聘
年齡三十歳ヨリ五十歳位
平町附近在住ノ方
保證人二名ヲ要ス
望ノ方ハ平町磐東代理店主幹加藤丈夫氏ニ御面談詳細知ラレタシ
共保生命保險會社 仙台支店

内臟外科 一般
外科花柳病科（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

新鰹節ノ御披露
御家庭用に御中元御贈答品には是非……
極上無油本節裸 四割五分（百目）
同 龜節裸 四割（百目）
特ニ箱 五本入（壹箱）壹圓五十錢
同 七本入（壹箱）貳圓也
尚多數御買上げの方には特に御勉强致します
四倉町新町
八印門馬商店
シンフジヤ 電話三番

吉田眼科病院
平町紺屋町

『夏』＝『海』…………
夏は海に………
カフエーガールが待つて居る！
來れ 四倉サービスに
エロ百パーセント………！
カフエーサービス
四倉町新町
（女給さん至急入用）

久し振りでお日さま

梅雨の形ちは撤れたが 未だ解らない

日照關係低溫共に始ど稀有

小名濱測候所廿年來の統計

今日と云ふ今日こそは久し振りでお日様が笑つた。顧れば去る三日のひる少し前からバラ／＼降り出して以來昨十五日迄前後十三日間五日と七日と一寸太陽が雲間を視いた丈けで殆どのべつ幕無しの雨。其量合計坪當り一五二ミリ六（二石七斗九升二合五八）とあつて生きとし生けるものの悉くがはらわた迄濕つぽくなつて了つた、而も之に伴ふ溫度たるや去る九日から十四日迄の平均十七度二分は既往二十ヶ年平均の廿度五分から觀て三度三分も低く從來の最低十八度四分からも荷ほ一度二分の低溫であつた、一体恁うした變調は大正十二年中强ち雨ばかりではなかつたが今回同様の日和が十四日續いたのを最大記錄とし明治四十四年の十日昭和二年の八日などがその主なるもので今後幾分はつきりしない日あるべきを見込み結局今年は前記大正十二年の次に行くではないかとの事である。而して今後の天候は北海道方面の高氣壓の勢ひが漸次弱くなり小笠原方面の氣壓が高くなつて南風も吹き初めたので大体梅雨の形は撤れたが正確な處は一兩日の經過を見た上でないと判明せぬ。云々

若林警部補赴任

平署から小濱警部補派出所詰に榮轉した若井警部補は今十六日午前八時五十五分平驛發列車で官民多數の見送人を受け出發赴任した

採礦教材研究の爲

九大永積 東大青山 兩博士來郡

入山。磐炭。古河を視察 相前後して北海道へ

九大工學部教授工學博士永積純次郎氏は採鑛教材研究の爲一昨十四日本郡入山炭鑛を視察し昨十五日北海道へ向つたが東大同上工學博士青山秀三郎氏も同上用務にて昨十五日入山の視察を試み今十六日内郷磐炭、好間古河を經明十七日之亦北海道へ向ふ豫定であると

常磐鑛長會

廿日磯原で

常磐各炭鑛の月例鑛長會は當番大日本炭鑛の斡旋で十五日開催の筈であつたが都合により二十日に延期磯原天妃山山海亭に於て開催する事になつたと

稻被害範圍廣し

各方面の情報に ◇—郡農會氣を採む

石城郡農會では天候不順による稻作被害狀況に就て過般來各町村技術員と協力し詳細調査中であつたが既報の如く夏井村地內六反步に亘り稻熱病が發生した外平町長橋町地內に黃斑性萎縮病が發生大野錦等にも亦同樣の兆あり更に好間方面に於ては近年になく害虫浮塵子が發生し驅除中であるが今十六日は高久村から水田數町歩が發育全く不良で全然分蘖を見ず田植當時の儘であると實地檢分應急措置方を願ひ出たので農會から柴田技師が急行したが其他各方面に相當の被害ある模樣で憂慮されてゐる

天候關係で俄然 一俵廿八錢騰貴

昨大浦農倉に於ける 白米定期入札成績

大浦農業倉庫に於ける昨十五日の定期入札成績は總數五百二十六俵相場は四等七圓三十四錢で前回の七圓六錢に比し二十八錢の騰貴を見てゐるが右は昨今の天候に因る中央市價の昂騰に支配されたもので今後果して該騰貴率を維持して推移するかどうかは頗る疑問であると

○○○○○○米調査員囑托　石城郡農會では石城地方に於ける六年度米生產高を調査するため草野村江尻喜三郎古市喜市の兩名に依賴し詳細の報告をなさしめる事となつた

平町有地拂下出願

田町の佐川重善氏

平町田町佐川重善氏は此程自家所有地と隣接してゐる安齋外科醫院前道路四十二坪を八百四十圓で拂下げ方を平町役場に願ひ出たが價格が安いので町當局で目下考慮中である

懸案の平町農倉

石城販賣利用組合で 今月から開設決定

石城販賣利用組合では昨報の如く十五日午前十時から平町事務所に役員會を開催過般來の懸案であつた平町に農業倉庫開設の件を協議の結果平町田町猪狩金之助氏所有間口四間奥行十一間石造倉庫を去る一日から十ヶ年六ヶ月間賃貸して之を開設する事となつた、尙ほ同組合では前組合長山崎與三郎氏に對し記念品として金盃一個を贈る事となつた

卅六年來追憶の柳 第一校庭に移さる

情に於て忍びぬと 五本五圓の身賣り撤回

平商業學校前の柳樹五本は此程堀井藤之助氏に五圓二十錢で落札した旨既報したが該柳樹は三十六年前組合高等小學校時代に植樹され其後歳々年々同じからざる人々の深い憶ひ出さして今日に至つたもので今之を僅かな金で他に移植するは情に於て忍びざるものがあると云ふので磐中同窓生並に平町青年團有志が醵金して之れを買戻し平第一校庭に移樹し永く憶ひ出の柳として保存する事となつた

□□□□□□紺屋町區長選擧　平町紺屋町では十四日區會を開き區長に關内喜久次郎氏同代理に水竹柳助氏を選擧した

投槍　寄書歡迎

寛容な交換孃

◇スピードアップの當世丈けに吾々は何につけても常に時間のより正確な處を知らうとする〻望がある。その結果自分の持つてゐる時計では安心がつかず早速電話口へ行つてお定りの『何時でせう』をやらかす◇現在七百近い電話を—中には隨分頻繁に使用する處もあるだらう—晝夜五十名の事務員によつて處理されて行く平局の電話は恐らく吾人の豫想する樣な閑散なものではない筈であるが問合せの都度別段厭なそぶりを見せず否口吻を聽かせずして快く敎へて吳れる處に或る種の感謝が湧いて來る◇平町には標準的の時報として驛のサイレンと城山の鐘とがあるに拘らず動もすれば比較的簡單に濟む電話口での『何時でせう』をやる、やる方では何とも思はぬだらうが受ける方では數の内に些か迷惑な場合がないでもあるまい、電話事務員の能率增進上今後サイレンなり鐘なりに時計を合して置く丈けの努力を吝まぬ樣にしようではないか（新川端痛感生）

平町新風景

皮肉な喜劇！

最初から可能性無い 滑稽な暗中摸索

聚樂館の松竹派天勝を觀た記者は極めて魅惑的な脚の曲線美の律動！そうした女人群像の跳躍よりもウルトラ、モダーンの照明裝置よりも先づ第一に現世相に對する諷刺滿幅のコメデーに多くの興味を喫られたんです。

○

その内のある梗概を書いて見ませうか。—斷髮洋裝のモダンガールが頻りと路上の遺し物を捜してゐる處へ相踵いで通り掛るブゥインテリらしい青年ＡＢ。宛然飢ゑたる狼の如く女の發散せるイットに陶然而して蕩然としたが其れが遺し物を索ねる爲であつて而も品物が高價なダイアを鏤めたプラチナの指輪と聞いた時二人の青年は所謂色と慾との猛烈な野望から女の辭退するのを耳にも入れず血眼になつて物凄い捜索を始めます。

○

更に一人の老人が加はります、老眼鏡を鼻尖へブラ下げ地面を甜める樣に捜し廻るこの老人と二人の青年とは旋て捜索區域の繩張り爭ひの淺間しい鬪爭を始めて觀客をヤンヤと喜ばせる時傍のベンチの假睡から醒めた青年、その物々しい光景に驚いたが女から事の次第を聞いて其のエンゲーヂリングなら僕が預かつて置いたと云ふ事になり驚き呆れてゐる三人にお介意無く殆んど頰と頰と摺れ合はん許りにして白魚の樣な女の指にそれを篏めて遣り男女は欣々として其の場を立ち去りました。殘された三人、相顧みてダ〻です。

○

最初から可能性の無い利權漁りなどに就てハタで見ると吹き出さずには居られぬ樣な恁うした滑稽にもまた醜い爭闘は多々あるんであります。彼れにも！此れにも！と當て篏めて考へて見たら獨りこみ上げて來る微苦笑を禁じ得なかつたんです。二なき目標が何者かゞ完全に把握してゐるとも知らずに狂奔する見當違ひの暗中摸索こそは哀れにも亦醜いもんです！手近な吾人の平町にもそうした涙の出る樣な皮肉な錯覺的新風景がないでせうか?。

既に一年分の數に近い

町現在の傳染病

氣候不順に鑑みて 其筋が一般の警戒心を喚る

平町に於ける一昨年來今月十日迄の年次別傳染病患者は

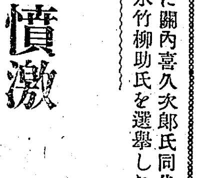
種別	四年	五年	今年
腸チブス	三三	三二	一七
パラチブス	三	五	二
赤痢	一六	四	三
疫痢	一〇	一〇	一
猩紅熱	三	三	一
ヂフテリア	三	二五	三〇
計	六八	七九	五四

で昨年は一昨年より十一名を增加し今年は未だ其の半ばにして既に平年の發生數に近からんとしつつあるなど衞生思想の普及宣傳と逆比例して逐年增加の傾向を示し殊に今年は昨今の天候不順から一層懸念に堪えざるものあるが平町中既往三ヶ年の統計に徵し發生率の最も著しいのは田町の二十六名を筆頭に紺屋町、新川町の十一名之れに次ぎ其他町の中心地が比較的多く揚土、道匠小路、櫻町、禰宜町、六間門、五町目等の町端れは僅か一二名宛で久保町の如きは一名の發生が無い平署並に町役場では年々增加の傾向に鑑み今年は大々的に之れが豫防設備に努力する事となり近く野菜物或は井水の簡易消毒法其他に就てチラシを配付し一般町民の洋意を喚起する計劃であると

白粉臭い繼母に 五人兄弟の憤激

全治二ヶ月を要する 世にも醜い傷害沙汰

神谷村鎌田大工職野口善作（四二）が亂暴な倅米作に顏面に傷を負はされ平署に說諭方を願ひ出た旨既報の如くであるが同家では昨十五日午後二時頃再たび最近北海道の出稼先から歸宅した次男を合せて五人の兄弟が繼母フク（三二）を中心に二階で大亂闘を演じフクは之が爲散々毆打され顏面頭部に打撲傷を負つた外肋骨一枚を折られ目下平町田町安齋病院に入院加療中であるがフクは最近まで南町料理店小山某方で酌婦をしてゐたのを善作が身受けして以來兎角風波が絶えなかつたもので同人の傷は二ヶ月を要する見込であると



艶罪黒白

◇按摩も女の身嗜みの一つで、お嫁にいつて姑の肩のこりと共に機嫌までもみほごす優しい手捌きを敎へる女學校もある、アノ妓の按摩が上手だと云つてもナニも親が專門家だといふ譯でない◇といつてお客をモミくちやにするのでなく、眞面目にサアビスするのだから感心なものだ、三味線をたゝいて唄をうたつて、肩をたゝいて手足をもんでとなると藝者も廢いもの◇今に針、灸點などの心得ある藝者が現はれるかも知れない、尤も藝者は大低人相見をやつてお客の懷工合まで見透すとはナ恐ろしや。

古河坑內に 瓦斯爆發

三名無事二名不明

好間村古河炭礦第二新坑九五五卸一六〇右卸八五四卸向堀りから今十六日午前七時二十分頃小局部の瓦斯爆發し折柄入坑作業中の川越藤五郎（三三）合津捨松（三五）井上春吉（三二）の三名は坑外に避難して無事なるを得武田健次（三〇）和田榮（四三）の兩名は目下生救護作業中死不明である

野球團平倶樂部

昨十五日夜創設決定 ＝役員及選手顏ぶれ＝

平町野球同好者十數名は十五日夜平町十五丁目織田材木店に集合協議した結果野球團平倶樂部を組織する事になり會則役員を決定したが同倶樂部では土日の兩日磐城中學校庭に練習を行ひ折を見て遠征を試みる由である役員並選手左の如し

△部長吉田金作、主將織田安次郎、會計小澤勇、織田安次郎、庶務高木忠三郎、幹事石川友次郎、井坂久吉、熊諏次郎、田井孝道、水竹伊之助

坂藤（川謙
井佐（安）石織
澤野田坂野井谷內
小小織石小國神坪熊
投捕遊一二三左中右

依然直らぬ手長小僧

釋放後引續きの盜み 再た其筋に檢擧さる

先ごろ平町白銀町鐵道官舍外數ヶ所を襲ひ現金貴金屬を竊取し平署に捕はれた內鄉村大字宮竹ノ內市川一雄（一七）假名は外二名の連累者と共に平檢事局に於て起訴猶豫となつて釋放されたが其後引續き內鄉村方面で手當り次第竊盜を働いてゐた事が發覺し昨十五日正午頃高坂坑長屋附近で再び井上巡査に捕へられ平署で取調べ中であるが過般釋放後二十數件の竊盜を自白した

大膽極る通帳改竄

阿部に一年半求刑

廿二日判決言渡

去月十五日平郵便局から關係諸印を盜用押捺し五十錢の郵便貯金を巧みに千四百五十圓を改竄し詐取せんとして果さず平署に捕はれた平町胡摩澤一一四居住青森縣中津輕郡豊田村外の崎村元一二生れ元郵便局員阿部役助（三三）の公判は昨十五日午後一時から平支部で中島裁判長係りで開廷市川檢事から懲役一年半の求刑あつたが言渡しは二十二日であると

□□□□□□新川町衞生區長　同新川町では十五日衞生區長の選擧を行つた結果渡邊又吉氏に決定した

漁夫の盜み

小名濱を荒して 其筋に捕はる

當時住所不定漁夫茨城縣那珂郡湊町和田町櫻井淺次郎（五〇）は七日午後八時頃小名濱小港六〇吳服店小野藤吉方から衣類三點價格五圓を竊取した外十二日午後九時半頃同町下明神町一二江尻亥之助方平町二丁目伊關吳服店出張所から反物二反價格三圓を竊取し昨十五日平署に逮捕され目下同署で取り調べ中

家出の畫家

平署へ搜査願

水戸市上市柳小路畫家中村邦彦事中村順四郎（三三）は去る六日無斷家出した儘行衞不明の爲搜査中去月三十日平町白銀町伊達屋旅館から平郵便局の消印ある葉書が屆いたので十六日平署に搜査方願出た

四倉通信

兒童納涼會　四倉小學校に於ては各父兄間の連絡を圖る可く今月末頃同校內に於て第二回兒童納涼會を開催すると

□□□□□□信組活動上映　四倉町信用組合では今十六日午後七時から四倉校庭に於て活動寫眞會を開催すると

町圖を掲示　四倉町青年團では同地海水浴場を廣く天下に紹介すると共に一般浴客の便利を圖るため團長菊地正一氏考案の同町全圖を驛前に掲示する事になつたと

□□□□□□佐藤書店開業　四倉町小學校前に書店を開業した金海堂主人佐藤吉次郎氏は秋田縣人で夙に斯業に趣味を有ち薄利多賣主義で各方面の好評を博してゐる

○○正誤　去る九日紙上『七犯の賭博男捕はる』の記事中神谷村向鎌田渡邊紋四郎（四七）が平町禰宜町熱心湯裏二階で賭博開帳中云々は鎌田町齊藤一二三方で開帳中の誤り

◎◎◎◎◎ **運動具と服裝!!!**

榮冠輝く品質と價格のファインプレー

平驛前 **マルカ運動具部** 電話三十二番

海水帽。浮袋。新型豊富

壜詰 **ユニオン生ビール**

うまい！うまい！

ユニオン生の壜詰が工場から直接入荷しました

それをスグ……電氣冷藏庫へ冷やした新らしいうまいユニオン生のビールを召し上れ……

御用命次第即時配達

一本三十五錢

一打以上は特に値段を勉强致します皆様の御利益を計り一打券を發賣致しました。此券で何本づゝでも御注文を願ひ舛 但し口金は一ヶ金三錢御引受致舛

白菊廣瀨商店 福島縣平町 電話五四番

三盃料理店 電話三二一番